

1

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

現状と課題

①観光客数の動向

- ・平成23年9月の紀伊半島大水害で一時的に落ち込んだ観光客数も、積極的な観光プロモーションの実施、プレミアム宿泊旅行券の発行、そして南部地域での会議開催支援などの取組により、回復を果たすことができました。しかし、その後の観光客数は横ばい状態であり、さらなる増加策が求められています。

②観光客数の季節的偏り

- ・南部地域は、吉野山の桜の時期や夏のキャンプ時期には、たくさんの観光客が訪れます。一方で、それ以外の季節には、観光客が少ない閑散期となっており、一年を通じて観光客に訪れてもらうための対策が必要です。

③宿泊客の発地状況

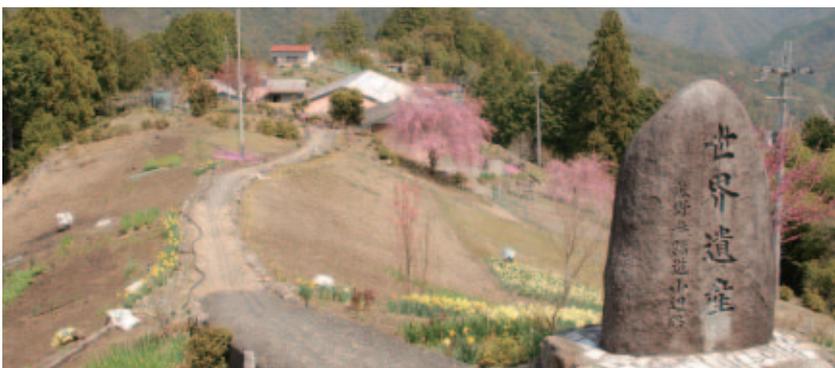
- ・南部地域の宿泊客は、約9割が近畿府県からで、県内からの宿泊客数は少ない状況です。まずは、県内でのプロモーション、さらには長期滞在も見込める首都圏等へのプロモーションが必要です。

④観光資源

- ・南部地域には、吉野山の桜、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」、十津川温泉など認知度の高い観光資源があります。
- ・一方、認知度は低いものの、祭りや伝統芸能、郷土料理など、観光資源となりうる魅力的な地域資源がたくさん存在しており、その活用が求められています。
- ・さらに、新たな観光客層を開拓するため、観光資源の創出が求められています。

⑤交通アクセス

- ・南部地域の観光地は、主要な駅や空港等からの距離が遠いことから、訪れてもらいやすい地域にするため、交通手段を確保していくことが必要です。

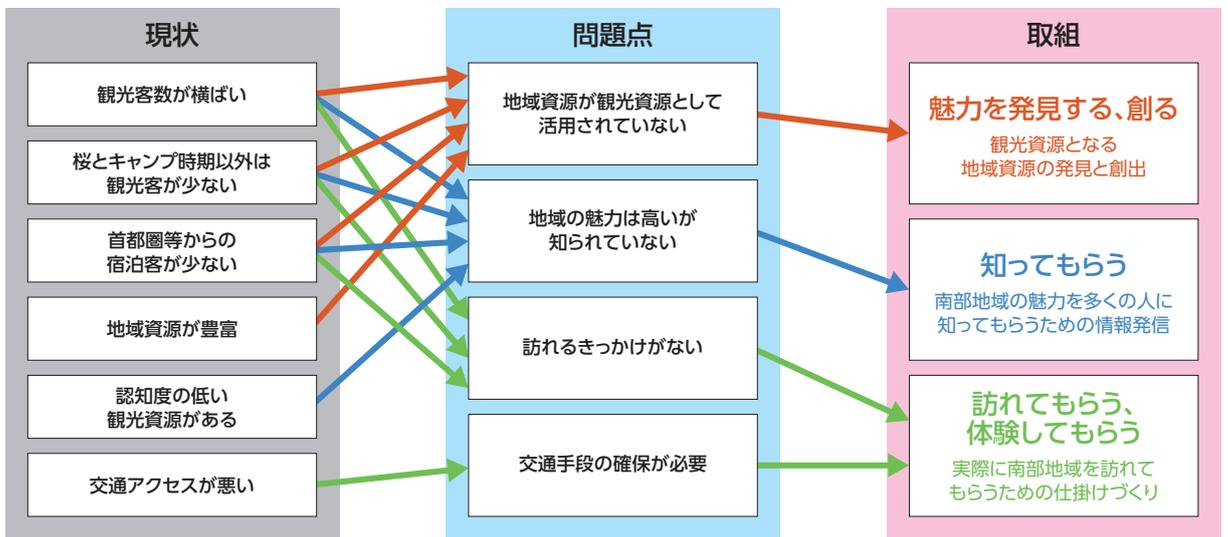


熊野参詣道小辺路(十津川村)

取組の方向性

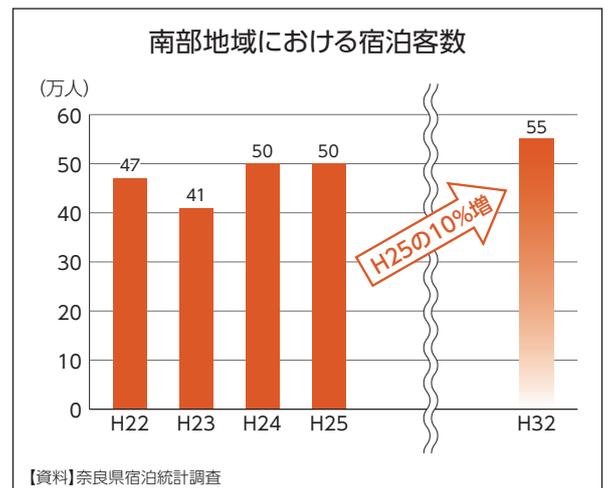
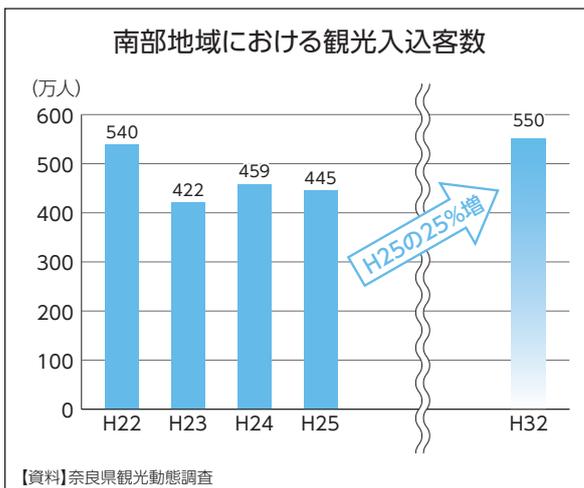
上記の現状と課題に対応するため、訪れてみたくなる地域づくりでは、次の3つの取組を行います。

- (1) 魅力を発見する、創る
(観光資源となる地域資源の発見と創出)
- (2) 知ってもらう
(南部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信)
- (3) 訪れてもらう、体験してもらう
(実際に南部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり)



目標

- ・平成32年の観光入込客数を550万人にすることを目標とします。
- ・平成32年の宿泊客数を55万人にすることを目標とします。



具体的な取組

(1) 魅力を発見する、創る

地域の自然景観、歴史的文化遺産、そして郷土料理など、魅力的な観光資源となる地域資源を発見するとともに、それぞれの地域特性に合った新たな観光資源を創出するため、以下の取組を進めます。

① 特色ある食と宿泊施設等の整備推進

- ・「なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)」との連携のもと、すばらしい眺望の場所に地元食材を活かして「食」と「泊」を売り出すオーベルジュ^{*}等の整備を促進するとともに、それらのネットワーク化を推進します。

^{*}オーベルジュ:フランスが発祥の郊外や地方にある宿泊設備を備えたレストラン

- ・農林業を体験できる農家民宿をはじめ、美味しい郷土料理など地域の魅力を楽しめる特色のある宿泊施設の整備を支援します。

② 美しい景観づくり

- ・植栽を通じて魅力ある庭づくり、さらには美しい景観づくりを行うことを目指して策定した『奈良県植栽計画』(「なら四季彩の庭」づくり)に基づき、南部地域の自然環境や森林資源を生かし、見るだけでなく、いろいろな楽しみ方や活動ができる「庭」を整備します。
- ・美しい景観を保全し、創造するため、道路沿いの緑化活動など県民との協働による取組を促進します。

③ 地域資源を活用した魅力づくり

- ・優れた自然景観、祭りや伝統芸能、郷土料理、歴史遺産など、地域資源の魅力を再発見し、これらを有効活用した取組を進めます。
- ・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」や石舞台古墳などの歴史遺産を活用した旅行商品、温泉やスキー場、ダム湖など地域の自然を活かした旅行商品、国の重要無形民俗文化財「十津川の大踊」など伝統芸能を体験できる旅行商品等の開発を進めます。

④ 多様なスポーツ施設の整備

- ・南部地域の地形や地域ならではの自然資源・自然環境を活かしたカヌーやサイクリングなどアウトドアスポーツで地域との交流を図ることにより魅力に親しみ、楽しむことができる施設の整備を促進します。
- ・京都府、和歌山県と連携し、広域的な自転車道を整備し、自転車によるスポーツツーリズムの促進とサイクリストと地域のふれあいの場づくりによる地域活性化を図ります。



カヌー教室(川上村)

取り組んでいます



五條市新町地区

- 五條市新町地区は「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されており、江戸時代の情緒ある町並みが特徴のエリアです。地区内では、空き家を活用した宿泊施設やレストランの整備など、景観に配慮しつつ、宿泊者などのニーズに応じています。



五條市新町通り

吉野町森林セラピーロード

- 歴史・文化的、自然的観光資源を数多く持つ吉野町の中でもセラピー効果の期待できる2箇所において、セラピーロードを整備しています。
- 平成24年3月には、奈良県内で初めて「森林セラピー基地」及び「森林セラピーロード」について認定を受けました。
- 両コース共に滝があり、マイナスイオン効果を満喫できる森林セラピーが楽しめます。



森林セラピーロード体験ツアー

十津川村谷瀬集落

- 谷瀬の吊り橋を見渡せる山の中腹に展望台を整備し、吊り橋から展望台までの道を「ゆっくり散歩道」と名づけて、案内看板、ベンチの設置や花木の植栽を行っています。
- 吊り橋近くの茶屋では、「ゆうべし」や「高菜」等地元で生産された商品が売られて、観光客にも好評です。
- 空き家を活用して特産品づくりや来訪者との交流など「生きがい・やりがいの場」となる拠点づくりを進めています。



谷瀬展望台

下北山村スポーツ公園

- スポーツ公園では、これまでから、多目的グラウンド、キャンプ場や宿舍などの施設を使って、合宿や研修に利用されてきました。
- 平成26年1月には、新たに人工芝のサッカー専用グラウンドを整備し、通年利用によるサッカー大会や宿泊を伴った合宿などでの利用が増加しています。



人工芝サッカー場

(2)知ってもらう

県内や近畿府県、さらには首都圏等における認知度を向上させるため、以下の取組を進めます。

①情報発信の強化

- 旅行雑誌や旅行サイト、動画サイトを活用した観光情報の発信や域内情報誌の発行、交通機関等とタイアップした観光キャンペーンを実施します。
- JAならけんまほろばキッチン内の観光案内所や道の駅等において、県内や近畿府県から南部地域への訪問を促すため、観光情報の提供や市町村等と連携したイベントを実施します。
- 首都圏や関西圏等における南部地域への関心層を広め、宿泊客誘致に繋げるため、鉄道駅のデジタルサイネージやプロモーションイベント等による観光情報の発信を強化します。
- 地域にゆかりのある著名人を「観光大使」に任命し、マスメディア等を活用した広報活動による情報発信を強化します。
- 南部地域を訪れる外国人を増やすため、映像(英語字幕化)や海外メディア等を活用した情報発信、ビジット・ジャパン事業を活用した外国人観光客誘致キャンペーンを実施します。
- 外国人観光客が必要とする観光情報を掲載した多言語ガイドブックなどを作成します。

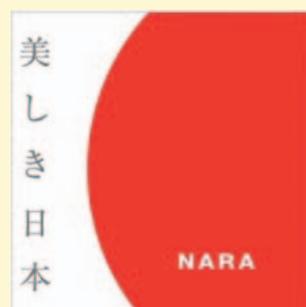
取り組んでいます



映像による情報発信

- 南部地域の自然豊かな美しい原風景や素朴かつ精神性の高い山間文化、歴史・人の営みの魅力にストーリー性やテーマ性を持たせた動画「美しき日本・奈良」を20本制作・配信しています。
- 外国人向けに英語字幕版の制作・配信もしています。

「美しき日本・奈良」ロゴマーク



情報誌による発信

- 南部地域を知ってもらうため、各エリアを取り上げた着地型パンフレット「ご当地じゃらん」を発行しています。
- 現地の観光拠点や宿泊施設で配布するとともに、雑誌への挟み込みを実施することで、これまでに多数の誘客効果を生んでいます。

「ご当地じゃらん」シリーズ



(3)訪れてもらう、体験してもらう

南部地域のことを知り関心を持った人々に、実際に南部地域を訪れてもらうため、以下の取組を進めます。

①スポーツイベントの開催

- ・トレイルランニング※1、ボルダリング※2、ダム湖でのカヌー、山岳ロードでのサイクルスポーツなど、南部地域の地形や自然を活かしたスポーツイベントを開催します。
- ・南部地域の施設や自然を活用したスポーツ選手の自主トレや合宿を誘致します。

※1 トレイルランニング:山などの未舗装の道进行スポーツ

※2 ボルダリング:道具を使わずに岩や岩壁を登るスポーツ

②音楽・芸術イベントの開催

- ・県内最大規模の音楽イベントであり、全国から高い注目を集める「ムジークフェストなら」のコンサートを南部地域でも開催します。
- ・高い集客力が見込める野外音楽フェスティバルや芸術イベントの開催に取り組みます。

③地域資源を活用したイベントの開催

- ・森林を活用したセラピーイベント、雪遊びイベント、イノシシやシカなどの有害鳥獣を活用した食イベントなど、地域資源を活用した各種イベントの開催に取り組みむとともに、地域の伝統行事を活性化します。

④交通アクセスの支援

- ・駅等から観光地までの直行バスの運行や、路線バス利用者に対する補助等により、観光客の南部地域へのアクセスを支援します。
- ・主要な観光地への良好なアクセスを確保するための道路整備を推進します。また、観光地間の周遊促進、観光地における回遊環境の改善に資する道路整備を推進します。

⑤おもてなし力の向上

- ・南部地域を訪れた観光客の満足度を高めるため、旅館経営者や市町村職員等を対象とした「おもてなしセミナー」を開催します。また、外国人観光客に対するおもてなし力を向上させるため、通訳ガイドや観光事業者等を対象とした研修を実施します。
- ・各種イベントとあわせて実施される前夜祭など、地域独自のおもてなしの取組を支援します。

⑥誘客促進の仕掛けづくり

- ・WEBサイトや雑誌などと連携した誘客促進の仕掛けづくりを行います。
- ・南部地域での合宿を増やすため、スポーツ選手や児童・生徒等の合宿に係る経費を支援します。
- ・外国人観光客を増やすため、観光地などにおける多言語表示、無線LAN・Wi-Fiの整備を推進します。



Kobo Trail

- 南部地域の地形を活かしたスポーツイベントとして、平成26年6月に初めてトレイルランニングレース「Kobo Trail 2014」を実施しました。若き日の弘法大師(空海)が踏破した道を走る「吉野山金峯山寺～高野山金剛峯寺」(55.7km)と「天川村洞川～高野山金剛峯寺」(42.4km)の2つのコースが設けられ、全国から多数のランナーが参加しました。



Kobo Trail 2014

県と市町村の共同イベント

- なんゆう祭は、南部東部地域の19市町村と県が共同で、平成25年度から開催している大規模な地域活性化イベントです。25年度は川上村、26年度は五條市で開催されました。地域特産品等の物産展や各種ステージイベント等を充実させることで、魅力を向上させ、多数の人が訪れるイベントとなっています。



なんゆう祭2014(五條市)

伝統行事の保存と活性化

- 五條市大塔町篠原地区の「篠原踊り」は、室町時代から続く踊りであり、県の無形民俗文化財に指定されています。後継者不足で存続が危ぶまれる状況になっていましたが、地元保存会と市、県が協力して、後継者育成事業を行うことで、市内外から約30人の参加者が集まり、伝統行事の保存と活性化に取り組んでいます。



イベントで練習成果を披露する様子

路線バス利用の補助

- 冬期は、自家用車による来訪が減少するため、南部地域への冬期の観光客数は、非常に少なくなっています。そこで、冬期(1～3月)に、南部地域へ路線バスを利用して訪れた宿泊客に、バス運賃を補助することで、観光客数の増加を図っています。



十津川村内を走る路線バス